

キクに発生するミカンキイロアザミウマの薬剤感受性検定	分類	普及情報
〔要約〕 <u>ミカンキイロアザミウマ</u> の雌成虫にはプリンスフロアブル，2 齢幼虫にはトクチオン乳剤の効果が高く，ネオニコチノイド系薬剤に対する感受性は低い。雌成虫には効果の高い <u>スピノエース顆粒水和剤</u> に対しても， <u>感受性が低下している例が認められ</u> ，注意を要する。		
生産環境部病害虫防除室	連絡先	099-245-1157

〔背景・ねらい〕

キクの主要産地の一部の地域で，キクえそ病が深刻な問題となっている。本病の主要な媒介虫であるミカンキイロアザミウマに対する薬剤の感受性低下が懸念されていることから，各種薬剤に対する殺虫効果について検討を行い，防除上の基礎資料とする。

〔成果の内容・特徴〕

- 1 採集地の雌成虫に対して補正死亡率80%以上であった薬剤は，平成17年度ではトクチオン乳剤，スピノエース顆粒水和剤，プリンスフロアブルの3剤であり，平成18年度ではプリンスフロアブルの1剤である（表1）。
- 2 2 齢幼虫に対して補正死亡率80%以上であった薬剤は，平成17年度ではDDVP乳剤50とトクチオン乳剤の2剤であり，平成18年度ではトクチオン乳剤の1剤である（表2）。
- 3 ミカンキイロアザミウマのネオニコチノイド系薬剤に対する感受性はいずれも低い（表1，表2）。
- 4 ミカンキイロアザミウマは，薬剤によっては採集地点ごとの感受性が異なっている（表1，表2）。
- 5 雌成虫で効果の高かったスピノエース顆粒水和剤に対し，平成18年度の枕崎地区の採集ハウス虫で著しく感受性が低下している（表1）。

〔成果の活用面・留意点〕

- 1 普及対象地域は，県内全域のキク栽培地域である。
- 2 本試験では，キク，花き類で登録のある薬剤を供試している。
- 3 同系統の薬剤の連用は避ける。
- 4 多発すると防除は困難なので初期防除を徹底する。特にハウスでは外部からの飛来侵入防止のために防虫ネットを張る等の対策を講じる必要がある。

〔具体的なデータ〕

表 1 雌成虫に対する各種薬剤の感受性検定（72時間後の補正死亡率，単位：％）

系統分類	供試薬剤	希釈倍数	枕崎市		山川町		栗野町 2005
			2005	2006	2005	2006	
有機リン剤	DDVP乳剤50	1,000	69	7	53	55	57
	オルトラン水和剤	1,000	46	-	72	-	3
	ジェイエース水溶剤	1,000	21	-	67	-	3
	トクチオン乳剤	1,000	86	36	90	97	100
	ボルテージ乳剤	1,500	29	0	38	52	20
	マラソン乳剤	2,000	40	24	28	87	87
	レルダン乳剤 2.5	1,000	85	41	45	93	90
	スプラサイド乳剤 4.0	1,000	-	14	-	48	-
	スミチオン乳剤	1,000	-	0	-	13	-
カーバメート 剤	オンコルマイクロカプセル	1,000	59	9	14	35	4
	ガゼットMCフロアブル	1,000	27	-	7	-	3
ピレスロイド	アーデント水和剤	1,000	27	-	0	-	4
	テルスターフロアブル	2,000	21	-	0	-	7
有機リン+ カーバメート	マラバッサ乳剤	1,500	-	20	-	41	-
有機リン+ピ レスロイド	スミロディー乳剤	1,000	-	0	-	17	-
ネオニコチノ イド剤	アクタラ顆粒水溶剤	1,000	31	-	10	-	45
	アドマイヤーフロアブル	2,000	64	-	0	-	3
	アルバリン顆粒水溶剤	2,000	0	-	7	-	16
	ダントツ水溶剤	2,000	5	-	0	-	0
	モスピラン水溶剤	2,000	3	-	3	-	33
	ベストガード水溶剤	1,000	13	-	0	-	34
その他	アフーム乳剤	1,000	37	-	38	-	30
	コテツフロアブル	2,000	12	-	0	-	63
	スピノエース顆粒水和剤	5,000	100	17	100	100	100
	ハチハチ乳剤	1,000	0	-	0	-	13
	プリンスフロアブル	2,000	100	100	100	100	100

表 2 2 齢幼虫に対する各種薬剤の感受性検定（72時間後の補正死亡率，単位：％）

系統分類	供試薬剤	希釈倍数	枕崎市		山川町	
			2005	2006	2005	2006
有機リン剤	DDVP乳剤50	1,000	100	32	90	88
	オルトラン水和剤	1,000	0	-	28	-
	ジェイエース水溶剤	1,000	0	-	45	-
	トクチオン乳剤	1,000	100	100	96	100
	ボルテージ乳剤	1,500	88	24	30	90
	マラソン乳剤	2,000	92	59	64	86
	レルダン乳剤 2.5	1,000	96	44	75	74
	スプラサイド乳剤 4.0	1,000	-	56	-	89
	スミチオン乳剤	1,000	-	44	-	48
カーバメート 剤	オンコルマイクロカプセル	1,000	82	10	4	54
	ガゼットMCフロアブル	1,000	3	-	4	-
ピレスロイド	アーデント水和剤	1,000	0	-	0	-
	テルスターフロアブル	2,000	0	-	0	-
有機リン+ カーバメート	マラバッサ乳剤	1,500	-	56	-	38
有機リン+ピ レスロイド	スミロディー乳剤	1,000	-	60	-	78
ネオニコチノ イド剤	アクタラ顆粒水溶剤	1,000	0	-	0	-
	アドマイヤーフロアブル	2,000	0	-	0	-
	アルバリン顆粒水溶剤	2,000	0	-	4	-
	ダントツ水溶剤	2,000	0	-	0	-
	モスピラン水溶剤	2,000	0	-	23	-
	ベストガード水溶剤	1,000	0	-	6	-
その他	アフーム乳剤	1,000	0	-	3	-
	コテツフロアブル	2,000	0	-	14	-
	スピノエース顆粒水和剤	5,000	37	14	63	74
	ハチハチ乳剤	1,000	0	-	0	-
	プリンスフロアブル	2,000	15	20	35	36

注) 市町村名は広域合併前の名称で表示

〔その他〕

研究課題名：難防除病害虫特別対策事業

予算区分：特定

研究期間：平成18年度（平成17～18年度）

発表論文等：第71回九州病害虫研究会発表，平成17年度 農業試験場病害虫試験成績書

平成18年度 農業開発総合センター病害虫試験成績書